



もおか観光コンシェルジュ ガイドツアー

参 加 者 募 集 中

2024年

12月15日(日)

真岡城跡ガイド

集合場所 久保記念観光文化交流館



時間 午前10:00~12:00

参加料:無料

●参加者1名につき保険料100円

久保記念観光文化交流館から門前地区を通り、真岡城跡(現:真岡小学校)を経て、芳賀氏の菩提寺の海潮寺を回り、レトロな街並みをめぐるコース。

お申込み:開催日の3日前までに下記へお申込みください

集合場所:久保記念観光文化交流館

お申込み・お問い合わせは真岡市観光協会(0285)82-2012(FAX兼)へ

真岡城とは

豪族の芳賀氏が南北朝期～戦国期に用いた居城であり、別名芳賀城・舞が丘城とも言われた。現在の真岡小学校敷地になっている。

築城は1362年、15代高貞が御前城（現真岡東中学校付近）から移転した（諸説あり）。

北側から西側は沼に囲まれ、西側は10mの崖になっていた。東側は幾筋もの川があり、内堀・外堀とするなど、自然を要塞とした。

敷地は南北500m、東西160mの楕円形で、本丸・二の丸・三の丸があった。南側に隣接する城山公園にも関連施設が造られた。

1597年24代高武の代に、豊臣秀吉によって改易され廃城となった。

2001年真岡市指定史跡となった。

■ 芳賀氏とは

平安時代、天皇の地を引く貴族が現在の真岡市京泉に流罪となったのが、芳賀氏の起こりと言われる。

前九年の役で活躍して流罪を解かれると、芳賀氏を名乗った。以後520年間、24代に渡り鬼怒川東岸を治めた。

この時代は全国各地で戦いが生じ、関ヶ原の戦い終了まで続いた。芳賀氏も頼朝に従って益子氏と奥州合戦に参戦、足利尊氏に従って関西に遠征、秀吉の命で宇都宮氏と朝鮮に出兵等、戦いに明け暮れた。

居城も京泉屋敷から御前城へ移り、そして真岡城へと移った。

豊臣秀吉に改易された後は、上杉家にお預けとなり、芳賀氏本家と主な家臣は山形県へと移った。